

コラム読み面接力養う

野田女子高校

(出水市)

月1、2回、授業開始前に新聞1面のコラムを読む時間を設けて



いる。10分間で内容に即した質問に答えたり、意見や感想をまとめたりする。小論文や面接への対応力を養う狙いだ。3年西田侑希乃さんは「コラムで知らなかったことを学べて面白い。何度も繰り返し読むことで自分の考えを文字にする力が付いた」。

日本新聞協会の「いっしょに読もう!新聞コンクール」に2019年から応募。全校生徒の夏休みの課題とし、学校奨励賞を受けた。選んだ記事について家族の意見を聞く必要があり、時事問題を周囲と共有する機会になっている。

実践校1年目。NIE担当の西蘭義和教諭(54)は「記事を通して世の中に関心を持ち、多様な情報や意見に触れる取り組みを進められたら」と話す。(山本輝志)

新聞コラムを読んで考えをまとめる生徒らII出水市の野田女子高校

かごしま



NIE実践校

知識や情報の幅広がる

枕崎小学校

(枕崎市)

月に1回程度、月曜朝の15分活動で「てきばきプレゼン」と題し



気になる新聞記事について語り合う児童ら
＝枕崎市の枕崎小学校

て新聞記事について語り合う。各児童が気になる記事について「なぜ選んだのか」「どう思ったか」などをまとめ、1人30秒で意見発表する。ニュースに関心を持つとともに、相手に思いを伝えるコミュニケーション能力を高める狙いがある。6年の松崎優里奈さんは「ウクライナや新型コロナウイルスなどに興味を持つようになった。新聞で知識が増えた」と話す。

学習内容や長期休みの思い出などを短い文章と絵でまとめる「はがき新聞」作りも盛ん。優秀作には校長賞が贈られる。

実践校指定4年目。担当の森聖子教諭(38)は「教科書の内容と新聞記事との関連に気付くなど、子どもたちの情報の幅が広がった」と効果を感じている。(下栗淳也)